



ニュースを教育・研究の視点から発信する OTEMON VIEW コロナ禍は避難所 100 年の歴史の転機となり得るか

追手門学院が OTEMON VIEW を開設

学校法人追手門学院(大阪府中央区、理事長：川原俊明)は6月に大学公式HPに特設サイト「OTEMON VIEW(オウテモンビュー)」を開設しました。

<https://newsmedia.otemon.ac.jp/>

OTEMON VIEW とは

「ニュースの面白さは、見方次第。」をコンセプトに、日々移り変わる世の中の出来事を、追手門学院大学の教員らが教育・研究成果など専門的知見に基づいて読み解きます。

サイトは追手門学院オリジナル記事と他メディアに掲載された関連記事の2つで構成。

本学のような文系学部中心の大学としては珍しい取組で改善を重ね充実していきます。



OTEMON VIEW トップページ

ニュースを教育・研究の視点から

7月の九州豪雨や今月の台風10号をはじめ、災害の度に大きく報道される避難所。今回のコロナ禍は人が密集する避難所運営に一石を投じ、「100年間変化なし」だった避難所が変わるきっかけにもなりそうです。

都市計画・災害復興が専門の田中正人地域創造学部教授の分析です。

(以下は主なポイント)

豪雨災害と被災地へのコロナの影響

- 近年の豪雨災害について
- 復旧・復興を妨げる被災地におけるコロナ

「100年変わらない？」日本の避難所

- 避難所での「災害関連死」問題
- 避難所の環境・運営が変わらない背景
- 避難所に対して進化する仮設住宅環境

コロナが変える？避難所環境と意識

- 高まる分散・広域避難の必要性
- 段ボールベッド等避難所環境の改善
- 災害を「我が事」と捉える意識の高まり

詳しくは記事本体をぜひご覧ください。

記事本体：<https://newsmedia.otemon.ac.jp/1045/>



九州豪雨で人吉市の避難所に設置された段ボールベッド
(避難所・避難生活学会理事 水谷嘉浩氏 提供)

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課

TEL：072-641-9590

谷ノ内・仲西